



ケイエムテック

省エネ照明開発

蛍光灯に比べ
消費電力3割減

台湾企業などと

真空機器設計・製造のケイエムテック(佐賀市、久米祐介社長)と台湾の照明器具メーカー、宇威光電公司など4社は蛍光灯より消費電力を約3割削減できる冷陰極管(CCFL)照明を共同開発販売を開始した。省エネ照明として採用が進む発

光タイオード(LED)照明より導入コストを5割程度削減できるという。ケイエムテックは4月の改正省エネ法でコンビエンスストアや事業所などでの需要が増えるの見込んでおり、初年度1万本の販売を目指す。CCFLは蛍光灯のよ

うな形をしているが、電極の構造が蛍光灯と異なる。このため、寿命が約4万時間と蛍光灯に比べて5倍程度長い。既存の器具にそのまま取り付けられるが、電流や電圧を安定させる安定器という装置を交換する必要があるという。

うな形をしているが、電極の構造が蛍光灯と異なる。このため、寿命が約4万時間と蛍光灯に比べて5倍程度長い。既存の器具にそのまま取り付けられるが、電流や電圧を安定させる安定器という装置を交換する必要があるという。

CCFL照明は佐賀県立図書館のインターネットコーナーの上に取り付けられた

CCFL照明の構造設計はコンサルティング会社のGEC(佐賀市)が担当。宇威光電と日本ガ

ラストロニクス(滋賀県草津市)が試作したCCFL照明をケイエムテックが評価した。製品は宇威光電が製造、日本ガラ

込みで1本1万円。ケイエムテックのCCFL照明はこのほど、佐賀県が中小企業の新製品

を試験的に購入するトリアル発注事業に選定され、27日、県立図書館納められた。